

「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【桜区】

〈開催概要〉

日 時：令和3年10月23日（土） 15：00～16：30

会 場：プラザウエスト 2階 多目的ルーム

参 加 者：11名（傍聴者0名）

市出席者：市長、都市経営戦略部

事 務 局：市長公室広聴課

開催テーマ：将来を見据え、さいたま市のまちづくりや市役所移転について考えよう

参加者との意見交換

●参加者

〈発言1〉

庁舎をさいたま新都心の方に移転し、建物は20階建て程度のビルで、商業施設も併設するとのことですが、現在既にさいたま新都心付近は道路も結構混雑しているという状況なので、そこを改善しないと、さらに混雑がひどくなると思います。特に周辺の産業道路や中山道の混雑緩和は対応してほしいです。主要な交差点に右折専用レーンがないところが多いのも渋滞の原因になっていると思いますので、そういったところの対応をお願いしたいです。

また、首都高速の「新都心」、「さいたま見沼」の出入口から「新都心西」出入口までを無料化していただければ、少しは渋滞も緩和すると思うので、検討してほしいです。

新庁舎については、平日だけでなく土日も利用できるような行政サービスを行っていただきたいです。

〈発言2〉

市役所について、それから新庁舎整備について意見を述べさせていただきます。

市役所のイメージですが、普段の生活において、市役所をイメージ、意識することは正直あまりなくて、普段の何気ない日常を維持するために職員の方が頑張っており、そういった意味では空気みたいな感じだと思います。

その中で、市役所の出番という意味では、コロナ、台風、地震などが発生したときに、強いリーダーシップを発揮して市民の安全を守っていただく、有事の対応をしっかり行っていただくというのが市民にとって必要であり、市役所に求めることではないかと思っています。移転については、この市役所がさいたま市全体にそういった機能を満遍なく発揮するためには、庁舎の位置が市の中心に来ることが望ましいと思います。

新庁舎の整備について、どのような市役所にしたいかということなのですが、今回の移転で区役所と本庁舎が分離すると私は理解しており、普段の市民との窓口としては区役所の方が接点があるということを考えると、本庁舎は、先ほど申し上げた災害に対する機能についてコントロールタワーとしての役割を果たしてもらうなど、純粋な本庁機能、中心機能というものに特化した形の方がよいのではないかと思います。一方、憩いのスペースなどは区役所の方につくった方がよいと思います。

また、働く方にとって働きやすい環境をつくるのが、最終的に市民サービスに還元されると思いますので、職員の皆さんの環境も重要だと考えます。

<発言3>

新庁舎整備について、仕事では市役所に関わることはありますが、市民としてはあまり関わりのない場所だと思います。新庁舎を何年使うのかが気になりました。今回60年で移転するとのことですが、もしまた60年後に移転するのであれば、シンプルな作りでもよいのではないかと思います。そういうことがSDGsにもつながると思います。

<発言4>

私は個人的にあまり市役所に行くことがなく、行くとしたら通勤や引っ越しなどの際に窓口に行く程度です。ただ、仕事上、市役所に職員さんと打合せ等で行くことが最近増えてきました。自分個人として必要な用があるときはあまり距離が遠いとは感じないのですが、仕事で頻繁に行くと、現庁舎の場所は微妙な位置関係だと感じました。それが今回移転するということは、仕事などで使う人にとっては、非常によい環境になると思います。

ただ、先ほど移転先付近の交通渋滞のお話がありましたが、そういう部分には留意しなければならないと思います。さいたま市は、今モビリティに関して非常に力を入れているそうですが、特にCO₂削減を目指したマルチモビリティが融合した市役所になれば、今の候補地の位置にしてもよいのではないかと思います。移転する場所としては非常によいと思います。

また、災害に強いまちということで、さいたま市だけの災害の拠点ではなく、リーダーシップを取って、埼玉県全体の防災拠点になるぐらいの施設を考えていただけたら、さいたま新都心の場所に移転する大きな意味があるのではないかと思います。

<発言5>

現在の市役所のイメージについては、私はこの4月にさいたま市に引っ越してきて、そのとき市役所へ行きましたが、第一印象は古いと感じました。天井も低いし、ごみごみしているという印象を受けました。

違う機会に川口市役所に行くことがありましたが、川口市役所はとてもきれいで、天井も高く、接客スペースも広いというイメージを持ちました。今回の移転の話はタウンミーティングに参加させていただいて初めて聞いたのですが、是非移転してもらって、埼玉県といえばさいたま市だと思うので、そんなイメージに合う市役所にしてほしいと思いました。

どんな市役所にするかということなのですが、場所はもうほぼ決まっていると思いますが、私個人的には大宮駅の周辺がよいと思っています。大宮駅というのは、東日本の玄関口でもあり、人の往来がとても多いので、そこにさいたま市のシンボルとして市役所があった方がよいと思いました。

どういった庁舎にするかということなのですが、8つの基本理念というのがありますが、特に防災に強い、災害に強い庁舎にしていきたいと思っています。私は以前水戸市に住んでいたことがありました。そのときに東日本大震災があり、水戸市役所は被害に遭って使えない状態になってしまって、とても困った記憶があります。電気も通らない、水も通らないという状況で、市役所も何もできない状態でしたので、是非災害に強い庁舎をつくっていただきたいと思っています。

今の市役所をどうするかということですが、先ほどの市長の話だと、浦和駅の周辺のまちづくりも一緒に考えているとのことだったので、旧庁舎と浦和駅周辺が一体となった何かを開発できるとよいと思っています。具体的には、一体の整備ですから、例えば自動運転する車が通るような、近未来的な、さいたま市だからできるような市のシンボルとなる計画をつくっていただけるとよいと思いました。

< 発言 6 >

新庁舎の駐車場について意見したいと思います。素案を見ると、特に公用車の駐車場については考慮されていますが、一般の来庁者の車については特に考慮されていないように感じました。

私にとって市役所はあまりなじみがなく、市役所に電車で来る人ももちろん多いと思いますが、車で来る人、足が不自由な人など車で来ざるを得ない人のことも考えると、ある程度確保することは必要ですし、バスターミナルも併設し継続していくのであれば、より一層重要だと思えます。

あと、駐車場は駐車料金がかかってきますので、そこも考慮するべきだと思います。

話は変わりますが、庁内の会議室の平均稼働率が90%を超えていて、今現庁舎では不足しているということが素案に書いてあったと思いますが、これはいつのデータなのかというのが気になりました。コロナ禍となりオンラインでのやりとりが増えてきた中で、実際に現時点でも9割埋まっているのでしょうか。会議室の面積が1.5倍になるということなので、本当に必要なのかということが引っかかりました。

◆市長

>> 発言 1

新庁舎の交通アクセスの問題、特に新庁舎の位置が新都心になった場合、道路の渋滞が非常に心配であり、右折専用レーンも含めてしっかり対応する必要があるとの御提案をいただきました。また、高速埼玉新都心線の無料化のお話や、市役所を土日でも利用できるようにしてほしいとの御意見も頂戴しました。

特に、交通アクセスについては、新庁舎の予定地は比較的駅から近い場所ではありますが、ほかの方からもお話があったように、電車で来られる方ばかりではないと思いますので、しっかり配慮していく必要があると思っています。

>> 発言 2

市役所は、ある意味では空気のようなイメージで、日常的に市役所に行くことは多くはないが、市民の日常生活を支えてくれている重要な場所だという認識を持っているというお話をいただきました。そのように言うてくださると、大変私たちもありがたいと思っています。

その中で一番重要なのは、区役所で市民サービスが行われるとすれば、コロナ禍などにおける危機管理や、災害時の役割がとても大切になってくるので、そこを意識した機能や施設にすべきだという御意見でした。

基本的な市民サービスについては区役所で行っており、またこれからデジタル化が進んでいきますと、区役所にすら来なくて済む手続も増えていくと思います。本市においても、令和7年度までにはほとんどの行政手続をオンラインでできるようデジタル化を進めていますが、その一方で、直接庁舎に来ていただいてお話をしたり、相談に乗ったりするという部分も必要です。

デジタル化という新しい時代を見据えながら、各区役所を補完したり、さいたま市全体を見渡して企画を練ったりという、本庁の機能について様々なことを考慮していく上で、危機管理という視点は非常に重要だと思います。また併せて、働く職員の働きやすい環境をつくるということが大事ではないかという御指摘もいただきました。考慮していく必要があると思います。

>> 発言 3

60年後にまた建て替えるのであれば、シンプルなものでよいのではないかというお話をいただきました。SDGsにつながることも重視すべきとのことで、あまり凝ったりせず、柔

軟性を持って考えてほしいという意味もあると思います。

今後デジタル化を始めいろいろな時代の変化があると思います。その中で何回も庁舎をつくり変えることは難しいので、そういった新しい時代の変化に対応できるような、そしてできるだけ維持管理費を抑えるような視点も持ちながら検討していくことが必要だと思います。

>> 発言 4

現庁舎は、位置的には少し行きづらいというお話がありました。これについては、候補地となるさいたま新都心はさいたま市のほぼ真ん中にありますので、そういった面ではよいのではないかと思います。

また、アクセスの問題などでも御指摘いただきましたが、さいたま市も庁舎の問題以外に、高齢化時代にも対応できる移動しやすい環境づくりを考えていく必要があります。AIを活用したデマンド型のタクシーや、つい先般もさいたま新都心エリアで、自動運転バスの実証実験をしました。いろいろな移動手段で移動しやすい環境をつくろうというMaas（マース）といった取組を含め、アクセスしやすい環境をつくっていくことも大変重要な視点だと考えていますので、しっかり意識しながら進めていきたいと思っています。

また防災面では、さいたま市だけではなく、埼玉県全体の防災という視点も必要ではないかという御指摘もいただきました。さいたま新都心エリアは、首都圏広域地方計画の中で、首都圏の首都機能のバックアップ拠点という位置づけをいただいています。さいたま市の安全を守る、さいたま市民の安全を確保するということはもちろん大事ですが、それだけではなくて、広域的な防災拠点、首都圏全体の災害にもしっかり対応できるような拠点という意味も含め機能強化をしていきたいと考えています。災害に強い庁舎、災害に強いまちをしっかりとつくっていききたいと思っています。

>> 発言 5

市役所は、古いイメージで、ごみごみした感じだという御指摘をいただきました。

川口市役所は昨年新しい庁舎に建て替えましたが、さいたま市役所も建築後45年たちまして、少し古めかしい形になっているかと思います。

そんな状況ですが、私たちとしては、働いている職員が働きやすい環境を整えるとともに、様々な市役所の機能や役割、例えばシンボリックな役割や災害への対応など様々なものが考えられますが、先ほど説明しました基本的な理念を意識した形で、取り組んでいきたいと思っています。

また、2011年の東日本大震災のときに水戸市役所が使えなかったというお話もありました。東日本大震災を経験して、これからまた首都直下地震がいつ起こるかわからないと言われている中ですから、特に地震を始め災害については、十分に検討し整備していく必要があると考えています。

さらに、浦和駅周辺が一体となったまちづくりのお話もありました。現庁舎の跡地も含めて、自動運転や、シェア型マルチモビリティ（電動アシスト付自転車、スクーター、超小型EV）、電気自動車のようなものの活用をうまく組み合わせながら、それぞれのニーズに合った、シームレスな移動ができる仕組みをつくりたいと考えており、浦和、美園、さいたま新都心周辺などで実証実験も行っているところです。

>> 発言 6

公用車の駐車場だけでなく、来庁者の駐車場スペースの確保についても配慮してほしいという御指摘をいただきました。

また会議室については、デジタル化や、オンライン会議の増加を踏まえた対応を考えていくべきだという御指摘もいただきました。そのとおりだと思います。

●参加者

<発言7>

2点意見があります。

1つ目は、新しい市役所についてです。新しい市役所は、憩いの場となるようなところ、自然と市役所に行こうと思えるくらいの場所になるとよいと思います。この点については、複合施設にしていくという観点からは実現しやすいのではないかと思います。また、これからはオンラインの時代であり、私自身もコワーキングスペースをよく使うので、そういった市民サービスを強化し、コワーキングスペースや憩いの場の中で共有した人たちが憩えるような場所をつくとよいと思います。また、法務省のホームページを見ると、在留外国人の数がさいたま市は埼玉県で2番目に多いとのこと。私も増えてきていると感じていますが、そういった方々が困ったときのための窓口をつくったり、日本語が読めない方のためにピクトグラムを使って気軽に立ち寄れるような場所をつくったりして、外国人に喜んでもらえるようにするとよいと思います。

もう一つは、今ある市役所の方の話ですが、旧浦和市のときからの姉妹都市であるメキシコのトルーカ市ですが、私はそこに行ったことがあり、公園や庭園の方にも行かせていただきました。そのときに思ったのは、現地のメキシコの方が日本庭園をとてもしっかり手入れされていたり、50年ぐらい過ぎているような日本のものもとてもきれいにされていたりするということでした。そのような古きよきものや、つながっているものを、さいたま市でもアピールできたらよいと思います。今の庁舎の敷地内にトルーカの鐘があると思いますが、そのあたりで国際的な交流イベントを開催するのもよいですし、浦和は外国人の方も含めて観光するような古きよきものがたくさん残っていますので、それらとコラボできるようなまちづくりを考えていくのもよいと思います。市民が参加できるようなイベントを企画してまちづくりを一緒に考えていけば、市民の方々から今ある庁舎の跡地の活用についても様々な意見が出て、形になっていくと思います。

<発言8>

新庁舎をどのようにしたいかについてですが、さいたま市だと、市外から市内の高校や大学に通う学生が多いと思うので、市内はもちろん市外に住む学生でも、さいたま市内に通う学生が勉強や休憩に利用できるパブリックスペースがあると嬉しいです。私もそうですが、どうしても市役所というと、住民票を取りに行くなどの用事がないと、特に若い人は行かないので、そういうスペースがあれば若者になじみのある市役所になるのではないかと思います。

市役所の移転について思うことなのですが、今はコロナ禍なのでコロナ対策にお金をかけてほしいと思う人もいます。私自身も行政に対しては、今はコロナに対して十分な対策をし、お金もかけてほしいと思っていますので、使用年数を前倒しして新庁舎整備を行うということであれば、まだコロナが収束していると言えるのかわからない状態なので、改めて十分に説明することで、市民の皆さんも納得する新庁舎整備になるのではないかと思います。

<発言9>

清水市長には、ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムや、さいたま国際マラソンなどの大きなイベントを誘致していただき、そのときは大変嬉しく思っていました。

一方、このたびの市役所の方針についてなのですが、経済の大宮、行政の浦和と長年ライバルとされており、アメリカで言えばニューヨークとワシントンのような関係ではないかと思いますが、どちらかに偏るのではなく、両方両輪で発展してもらいたいと思いますので、市役所の位置に関しては、住民投票などで問うべきではないかと思っています。

新都心は、大宮区と事実上一体につながっていて、国の大きな合同庁舎が幾つもできて、既に市役所や県庁並みの象徴、シンボルになっているのではないかと思います。その大

宮・新都心を中心として、事業誘致や産業誘致をしていただきたいと思います。今、コロナ禍で、東京の企業が郊外へ本社を移転するような流れもありますので、さいたま市にとってこれはチャンスではないかと思います。

また、説明資料にもある先端産業施設などを新都心につくってはいかがでしょうか。大宮は大きなターミナルですが、浦和も行政の中心であり、ほかのまちと比べても十分便利なのではないかと思います。

最後に、私は建築が好きなのですが、浦和のまちづくりに隈研吾さんが関わられると聞き、大変嬉しく思います。これは個人的なお願いですが、是非埼玉県や大野知事にも関わっていただいて、市役所よりも古い築70年の県庁を、浦和に、隈研吾さんに建て直していただけないかと思います。

<発言10>

市役所のイメージについてですが、私はあまり市役所に行ったことがなく、あまり関わる機会がないのですが、だからこそ市民と関われるような、例えば浦和だとシンボルとなる浦和レッズなどのサッカーチームと関われるイベントや、サッカー教室みたいなものを行えば、市民と関わる機会も増えると思います。市役所はあまり関われる機会がないからこそ堅いイメージがあると思うので、そういうイベントの場を増やして、市民と関わる機会を多くしてほしいと思います。

新庁舎整備については、例えばSDGsに配慮した緑を増やした芝生の広場でイベントなどを行ったり、イベントがない日には、普通の公園として小さい子が遊んだりお年寄りが体操したりできる場所を、憩いのスペースとしてつくったらよいのではないかと思います。

<発言11>

新庁舎について、テーマ説明の中でSDGsに配慮したという言葉があったと思いますが、緑のカーテンなど緑を増やすことと、ソーラーパネルなどを設置して無限の資源エネルギーを利用できるようにしたらよいと思いました。

現庁舎の利活用については、現庁舎地は、私たちのような浦和区外の中学生からすると、行く理由があまりない施設なので、そのような人々でも行きたいと思えるような場所になるとよいと思いました。情報化が進みSNSの利用も多くなってきましたので、例えば美しい写真スポットを作ったり、学びや安らぎを得られるような、テーマ説明の例でも言っていたような美術館や劇場などがあったりするとよいと思います。そうすることによって、私たちのような学生のほか、男女ともに幅広い年代がその現庁舎地に行くようになり、浦和区のまちの発展や活気づけにもつながるのではないかと思います。

<発言12>

文教都市は全国にあると思いますが、浦和には浦和高校と全国に名をはせるような高校があります。しかし、その先の高等教育が少し弱いと思っているので、現庁舎跡地については、教育のための研究施設や勉強できるような施設を入れてほしいと思います。さいたま市は人口も増えてきたり、住みたいまちのランキングが上がってきたりしていると思うのですが、せっかく浦和高校のようなよい高校があるのに、その先については、ほかの都市の方がよい大学があるイメージなので、学び合える場所、教育・研究をする機会が得られる場所を是非設けてほしいです。現庁舎は私の家にも近いので、土日などに社会人になっても勉強しに行けるような場所、社会人で大学院に入れるような場所などがあるととても嬉しいです。

<発言13>

私は埼京線を使いますが、埼京線と京浜東北線を結ぶ横ルートがあまり充実していない

という印象があります。さいたま新都心の方に新庁舎ができるということであれば、そこからアクセスするためにバスでの代用、拡充や、昔モノレールの計画もあったと聞いているので、それがもし実現の可能性があるなら、是非、御検討していただきたいと思います。

また、新庁舎は20階建ての予定ということなのですが、希望がある場合は、20階以上でもよいと思うので、民間企業や商業施設を積極的に誘致していただきたいと思います。

<発言14>

今の庁舎の跡地の活用なのですが、経済の部分で言うと、さいたま市民は市外で多くお金を使ってしまう、お金が外に出ていってしまうという課題があると思います。それを防ぐ関所になるようなものを浦和につくっていき、お金が外に流れないようにしなければならないと思います。

また、観光の部分で、これだけ古くよいものがあるのに、観光地としての機能が果たされているのかという疑問がありますので、これらの文化資源を観光に生かすことも考えていただきたいです。

<発言15>

新庁舎に関して、さいたま市は災害に強い市ということですが、防災意識という面で市民にわかりやすく伝えられるようなものは何かないかと考えたとき、東京のお台場の方にある首都直下地震の体験ができる施設を思い出しました。さいたま市役所の中にも、そういった勉強ができるようなブースや、子どもたちが社会科見学できるような場所をつくるとよいと思います。自然災害は身近にあることや、気候変動や今後の地球を考える機会が得られるような場所が市役所の中にできれば、市民サービスの充実した素晴らしい庁舎になっていくと思います。

◆市長

>>発言7

市民の憩いの場や、コワーキングスペースなどを含めて市民サービスが提供できるような場がほしいというお話がありました。また、外国人に対応できるような機能も必要ではないかというお話がありました。

また、トルーカ市に行かれたことがあるということでした。現庁舎にもトルーカの鐘があります。私も何度かトルーカ市に行かせていただきましたが、非常に温かい方々でした。先般もオンラインで交流させていただきましたが、そういった国際交流ができる機能も持つ必要があるのではないかという御意見であり、これについても十分検討していきたいと思います。

>>発言8

市外から来る人たちも多くいるので、そういった人も勉強や休憩に使用できるパブリックスペースを設け、若い方々もなじみやすい市役所になってほしいという御意見をいただきました。

また、コロナ禍なのに、今なぜ庁舎を移転するのかという気持ちもあるというお話もいただきました。市民の皆さんの中では、そういった御意見もあると思います。

さいたま市としては、今何に一番重点を置いて取り組んでいるかと聞かれれば、間違いなくコロナ対策です。昨年から今年度、約2,369億円という大変大きな予算を費やしてコロナ対策に当たってきました。さいたま市の一般会計予算は例年5,500~5,600億円ぐらいですが、昨年は7,000億円を超える大変大きな予算を計上し、医療体制の整備や経済対策など、市民の皆様の生活を支えるための事業をいろいろな視点で行ってきました。もちろん今後もコロナ対策というのは最優先ですが、さいたま市の場合、基礎自治体ですので、コロナ対策以外にも、教育・学校の運営や、コロナ以外の病院や病気への対応、その他い

ろいろな対応を並行して行っていかなければならないと考えています。庁舎の整備に当たっては、先ほども言いましたように、恐らく60年は使えるが、その先は難しいという判断がある以上、遅くとも15年後にはこういう提案をしなければならないという状況があります。こういった準備を行う場合、概ね10年、またはそれ以上かかるのが一般的ですので、今から準備を進めていく必要があります、現在検討させていただいているところです。

もちろんそういった中で、どうして今庁舎移転するのかという声があることも十分踏まえながら、しっかり私たちも説明をしていきたいと思っています。今すぐ移転するわけではないので、これから10年後に移転する上において、計画を少しずつ詰めていかななくてはならず、こういったプロセスがどうしても必要になります。市民の皆さんの声もしっかり聞いた上で進めていきたいと考えていますので、御理解をいただければと思います。

>> 発言 9

もともと浦和と大宮はワシントンとニューヨークのような関係で、両輪でやっていくことが望ましいのではないかというお話がありました。庁舎移転については、あまり賛成ではないということだと思いますが、そういった御意見も市民の皆さんの中には一定程度あるということも理解しているつもりです。住民投票にすべきという御意見も頂戴しました。今は多くの市民サービスがほとんど区役所に移管されています。本庁舎は、市全体の企画や区同士の調整など、市全体のことを行っている場所になりますので、市民の皆さんが行くという場所ではなくなりつつあると思います。

合併して約20年間、まだ議論が十分ではないと言われることもありますが、先ほどテーマ説明でもお伝えしたとおり、合併協定書の経緯があり、それ以降20年間庁内でもいろいろな形で議論をしてきました。今年合併して20年がたちました。よく浦和对大宮などといういろいろなことが言われますが、もう20年たちましたので、私はさいたま市は1つだと思っています。ただ、浦和に対する愛情や、大宮に対する愛情を持っていただくということは素晴らしいことですし、それに対する考え方や思いを否定するつもりは全くありません。それぞれの地域を愛する気持ちは是非大切にしてほしいと思っています。

これから私たちが未来に向かって歩んでいくときに、今10区ありますが、それぞれの都市のよさや特徴に合ったまちづくりをしていくことが一番望ましいと思います。全ての区が大宮になる必要もないし、全ての区が浦和になる必要もありません。桜区は桜区のよさがある、浦和区は浦和区のよさがある、それぞれをしっかり生かしたまちづくりをしていくことが、さいたま市の発展につながると思います。

浦和区は、10区の中でも特に人口が増えている区です。その最大の魅力は教育です。移転されてきた方の約3割は浦和で教育を受けさせたいという方々であり、とても多くいらっしゃいます。大宮の商業と浦和の文教を相互に生かしながら発展できるようなまちづくりをしていくということが、私は一番望ましいと思っています。

そうした中で、庁舎問題等は長年議論がなされ、そろそろ方向性をしっかり導き出していくことが必要ではないかと思っています。そして、みんなが一つになってこれからさいたま市を発展させていければよいと思います。さいたま市は首都圏の中でもいろいろな役割があり、また東日本というエリアの中でも役割が多くあると思っています。その中で、市民の皆さんが持続可能なまちの中で豊かに暮らせる環境をつくっていただけるかどうか、今は非常に重要な時期です。あと10年で人口が減少すると言われていきますから、この10年の中で方向性をしっかり導き出して、市民の皆さんとともに一緒につくり上げていくということが必要ではないかということで、今回提示をさせていただいているところです。

私は、中学校は浦和で育ち、今は大宮に住んでいます。浦和と大宮のハーフと自認していますが、浦和も大宮も両方愛しているつもりでいますし、岩槻も与野もみな大好きです。みんなが一つになって、さらにみんなが幸せになれる、そんなまちをつくりたいという思いで進めていますので、御理解いただければありがたいと思います。最終的には、市民の皆さんにもいろいろな形で御意見を頂戴しながら、この計画を進めていきたいと思っています。

また、先端産業施設は新都心の方につくってはどうかという御意見や、浦和のまちづくりに隈研吾さんが関わることに賛成であるというお話がありました。浦和の魅力は教育・文化であり、さらにいろいろな歴史もあり、一緒に住みやすい高品質な都市が作れるエリアだと思います。浦和の場合、教育や文化といった落ち着きのある、風格のあるまちづくりが望まれていると思っていますので、隈研吾さんをはじめ有識者の方々や市民の皆さんの声を聞きながら、そのようなまちとして発展させていきたいと思っています。

>> 発言 10

市役所はあまり来る機会がないので、市民と関わるイベントみたいなものが行われる場になってほしいというお話や、また、そうすることにより市民にとって身近な、若い皆さんにとっても身近な場所になるのではないかというお話でした。また、新庁舎ではそのような場として芝生の広場にするのがよいのではないかと御提案もいただきました。

今も現庁舎の敷地で、うなぎまつりなどのイベントを時々しており、もちろん浦和区以外の皆さんにも来ていただけるイベントとして実施しています。区役所でもロビーコンサートを行っていると思いますが、そういったイベントを行い、皆さんにとって身近で親しみのある場所にしていくことは非常に重要だと思いますので、これからもそういった視点を持って取り組んでいきたいと思っています。

>> 発言 11

SDGsの視点から、緑のカーテン設置やソーラーパネルによる再生可能エネルギーの活用について御提案をいただきました。また、現庁舎地の活用については、写真スポットや美術館、劇場など、若い世代のみならず、幅広い世代が、そして浦和区以外の皆さんも訪れるような場所にしていただきたいとの御提案もありました。

>> 発言 12

県立浦和高校のお話がありました。文教都市のアピールという面では、高等教育のシンボリックな場所が必要ではないか、生涯にわたって学習機会が持てるような場所にしてはどうかとの御提案をいただきました。

こうした高等教育機関の誘致なども含めて、いろいろな視点から私たちも考えていきたいと思っています。県立浦和高校、浦和第一女子高校、埼玉大学があり、また師範学校があったということで、文教都市としての歴史は本当に長いものだと思います。さいたま市は、おかげさまで中学生の皆さん、小学生の皆さんに頑張ってもらっており、大変学力が高いです。また、夢や希望を持つ子どもの割合も高いですし、自分にはよいところがあると思っている子どもの割合は、政令指定都市で第1位です。そういう意味では、そのような環境があると思っていますし、さらにブラッシュアップしていくシンボリックな施設というのにも必要だと思います。

>> 発言 13

交通の問題の御指摘がありました。特にモノレールの計画のお話が出ましたが、現在東西交通大宮ルートを検討が引き続き行われています。これは、大宮からさいたま新都心経由で浦和美園にそのままつながるといえるものです。国の交通政策審議会などでも、有効な路線ということで答申を受けていますので、順次計画を進めていきたいと思っています。

>> 発言 14

現庁舎の利活用について、経済面で、さいたま市民のお金あまり外に出ていかないような活用を考えるとよいのではないかと、また、文化資源を観光に生かして活用していくとよいのではないかと御指摘もいただきました。そういった視点も必要になると思います。

>> 発言 15

新庁舎について、防災が体験できるような施設や機能があるとよいのではないかという御指摘をいただきました。すでに防災センターというものを設けていまして、一度でこういった体験ができるような場所となっておりますが、災害に強いエリアになっていくためにはまたいろいろな工夫が必要になると思いますので、そういった視点も検討していきたいと思っております。

皆さんからは多くの御意見をいただき、本当にありがとうございます。皆さんと同じような意見を持っている方もたくさんいらっしゃると思います。コロナ禍で本当に今必要なのかという御意見や、そもそも移転するのは反対という御意見も当然あると思っておりますし、私たちとしては、そういった皆さんに理解を深めていただくということも含めて、こういったタウンミーティングを開催させていただいております。多くの皆さんに御理解をいただきながら、よりよいものをつくっていきたくと思っています。パブリック・コメントもまだ募集していますので、今日言い忘れてしまった、言えなかったということがありましたら、是非、このパブリック・コメントの方にも御意見をお寄せいただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今日は土曜日の午後で、皆さんにとっては本当に大切な時間ではなかったかと思っております。そうした中でこうして御参加をいただいて、素晴らしい建設的な御意見をたくさんいただくことができました。

これからも、また引き続き私たちも皆さんの声にしっかり向き合いながら、よりよいものをどうつくっていくか、どう御理解をしていただくか、またさらにどう対応していくのかということも含めてしっかり考えていきたくと思っていますので、よろしくお願いいたします。

今日は、本当に皆さん、貴重な時間をありがとうございました。

■ 補足説明

「民間企業や商業施設の積極的な誘致」について
令和3年12月に策定した「新庁舎整備等基本構想」におきまして、民間機能との複合化について検討しております。複合化する民間機能の具体的な用途や機能、規模について、さいたま新都心周辺地区の周辺施設や民間事業者の動向に留意しつつ、本庁舎機能等の詳細検討と併せて今後も継続的に検討してまいります。

(都市戦略本部 都市経営戦略部)